

2018年度（第14回）精密工学会賞受賞業績の紹介

清水伸二

清水伸二氏は、熱変形特性の評価法など数多くの工作機械の高精度化、高機能化に関する研究をされてきました。また、広く産業界と連携して技術開発を推進されるとともに、工作機械、ツーリングシステムに関するJIS規格化、および国際標準化にご尽力されました。さらに、国際工作機械技術者会議（IMEC）の運営委員長を通して日本と外国との技術交流を図るなど、国際的視野での工作機械技術と工作機械産業の発展に大きく貢献をされました。

そして、これらの経験を生かして、内外の多くの工作機械をわかりやすく解説した名著『初歩から学ぶ工作機械』（大河出版）をはじめとする多くの著書や各学会が主催する工作機械の講習会を通して、国内外において工作機械の啓蒙に努めてこられました。

一般社団法人工作機械工業会では、創立60周年にあたり工作機械産業ビジョン2020策定検討会議の座長として2012年に日本の工作機械産業の将来ビジョンを示した報告書をまとめるなど、工作機械産業界に多大な貢献をされました。

現在は、上智大学を退職され（2014年4月）名誉教授となり、さらにご自身ではMAMTEC（Machine tool & Manufacturing Consulting）代表として、広い人脈を生かし、主として工作機械関連技術の研究・開発、教育などに関するコンサル業務にご尽力されています。

以上のように、清水伸二氏は精密工学、特に工作機械関連の研究・開発を通じて、学術、産業、教育の発展に貢献され、その功績は極めて多大です。

略 歴



- 1973年 上智大学大学院理工学研究科機械工学専攻修士課程修了
- 1973年 株式会社大隈鐵工所（現オークマ株式会社）（～1978年）
- 1978年 上智大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士後期課程（～1981年）
- 1981年 上智大学理工学部機械工学科助手（1982年講師、1984年助教授）
- 1994年 上智大学理工学部機械工学科教授（～2007年）
- 2007年 上智大学理工学部機能創造理工学科教授（学部再編にともなう移籍、～2014年）
- 2014年 上智大学名誉教授、
MAMTEC（Machine tool and Manufacturing Technology Consulting）代表（～現在）
千葉大学大学院工学研究院特任研究員（～現在）
- 2017年 東京理科大学理工学部機械工学科非常勤講師（～現在）
日本機械学会フェロー（2007年）、精密工学会フェロー（2009年）